

食品産業ニュースレター

こんにちは、東北農政局です。先日、スーパーで柿を見かけました。朝晩も少しずつ涼しくなり、秋の訪れを感じます。「行楽の秋」という言葉もあるように、レジャーやグルメなど秋を思い切り楽しみたいですね。

●お知らせ1 フラッグシップ輸出産地認定証授与式を開催しました

農林水産省では、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地を「フラッグシップ輸出産地」として認定しています。「第4回フラッグシップ輸出産地に関する有識者会議」において認定された全国42産地のうち、東北管内からは5産地が認定されました。それに伴い、東北農政局では、令和6年9月19日、認定証の授与式を開催しました。

株式会社日本農業（りんご ⇒ 台湾、香港等）

対象となる地域：青森県弘前市・青森市・黒石市・平川市・南津軽郡大鰐町・田舎館村・北津軽郡板柳町・鶴田町・南津軽郡藤崎町・五所川原市・つがる市・西津軽郡鰹ヶ沢町

- 仕向国ごとのりんごの嗜好性を把握し、それに沿ったりんごを輸出できるように提携農家とコミュニケーションを取っている。
- 台湾向けにおける施設登録等、各国の規制対応を行っている。

オヤマ輸出コンソーシアム（鶏肉 ⇒ カンボジア、香港等）

対象となる地域：岩手県一関市

- 香港向けの精肉について、通常2kg/袋で流通しているものを、相手国の要望で1kg/袋で製造し、販売。
- ベトナム・カンボジア向けのもみじについて、数量を増やし、品質を上げてほしいという要求があり、人員を確保して対応している。

みやぎ登米農業協同組合（米 ⇒ 香港、シンガポール等）

対象となる地域：宮城県登米市

- 輸出事業者との複数年契約を締結し、数量の安定生産、安定供給を図っている。
- 低価格で安定した品質のコメを供給するため、多収性品種の導入により低コスト生産に取り組んでいる。また、担い手経営体の大規模化や農地の集約化により、単位面積当たりのコスト低減に取り組んでいる。

秋田牛輸出促進コンソーシアム（牛肉 ⇒ 台湾、タイ）

対象となる地域：秋田県秋田市・鹿角市・大館市・北秋田市・能代市・山本郡藤里町・三種町・男鹿市・由利本荘市・にかほ市・大仙市・仙北市・仙北郡美郷町・横手市・湯沢市・雄勝郡羽後町・東成瀬村

- タイ、台湾の規制に基づいた輸出施設認定を取得。
- 輸出コスト削減に対する要望に対しては、1頭フルセット輸出を促進しており、未利用部位の活用を進めるためのカット技術講習会開催などを実施。

山形県食肉流通・輸出促進コンソーシアム（牛肉 ⇒ 台湾、香港等）

対象となる地域：山形県山形市・上山市・天童市・東村山郡山辺町・中山町・寒河江市・西村山郡河北町・西川町・朝日町・大江町・村山市・東根市・尾花沢市・北村山郡大石田町・新庄市・最上郡最上町・真室川町・舟形町・金山町・戸沢村・鮭川村・大蔵村

- 2017年9月に台湾向け輸出牛肉取扱施設として認定を取得。また、現地バイヤーからのカット指示（性別、分割数、部位）にその都度対応して輸出している。
- 香港向けには、性別（雌のみ）や月齢の指定など現地のニーズに的確に対応した肉牛生産を行い、輸出している。

◆ 認定証授与式



詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/tohoku/kihon/yusyutu/flag.html>



●お知らせ2

食品ロス削減のための消費者啓発に取り組む 小売・外食事業者、地方自治体及びその取組を募集しています

農林水産省は、本年10月の「食品ロス削減月間」に向けて、ポスターや動画など啓発コンテンツを活用して、「てまえどり」など消費者啓発に取り組む小売・外食事業者、地方自治体及びその取組を募集しています。

募集内容：消費者のどのような行動が食品ロスの削減になるかをわかりやすく示す取組とそのコンテンツ
(ポスター、動画、卓上・帯POPなど)

募集対象者：食品小売事業者、外食事業者、地方自治体

募集期間：令和6年10月16日(水)まで

啓発コンテンツ例

▽ てまえどり
(帯POP、アテンションPOP、ポスター)



▽ 農林水産省が提供するコンテンツ
(ポスター、卓上POP)



10月の食品ロス削減月間のポスター、消費者庁が提供するコンテンツ、環境省が提供するコンテンツ、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会が提供するコンテンツ …など

詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/240830.html>



●お知らせ3

令和6年度JASオンラインセミナー 「～JASから始まるルールメイカーへの道～」を開催します

(独)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)は、JASの制定や活用方法を幅広く紹介する、令和6年度JASオンラインセミナー「～JASから始まるルールメイカーへの道～」を開催します。本セミナーは、プログラムごとに計3回行われます。

▼ プログラム

【第1回】

- 「ルールメイキングにJASを！～国際標準化まで見据えた標準化戦略～」

【第2回】

- 「みそJAS～日本の伝統を世界へ～」
- 「ベジタリアン・ヴィーガンJAS～ベジタリアンやヴィーガンの方の適切な商品選択のために～」

【第3回】

- 「日持ち生産管理切り花JAS～切り花の日持ち向上を目指して～」
- 「有機レストランJAS～より使いやすいJASへもっと有機レストランを身近に～」

開催日時：

- 第1回 令和6年10月10日(木) 13:30～15:00
- 第2回 令和6年11月14日(木) 13:30～15:20
- 第3回 令和6年11月28日(木) 13:30～15:45

開催方法：オンライン(webex)

参加費：無料

申込締切：

- 第1回 令和6年10月9日(水)
- 第2回 令和6年11月13日(水)
- 第3回 令和6年11月27日(水)

参加申込フォームはこちら

<https://www.famic.go.jp/famic1412/jasseminar/form.cgi>



詳細はこちら

http://www.famic.go.jp/syokuhin/jas/seminar_2024/



発行元お問合せ先

東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課 仙台市青葉区本町3-3-1(仙台合同庁舎A棟)
TEL:022-263-1111 (内線4558) E-mail: syokusannews_tohoku@maff.go.jp